

3 市民に開かれた庁舎（図2）
市民ロビー・市民広場は、様々な市民活動や交流を促進することで、市民が市政に参画しやすい環境づくりを目指します。また、4階議場については、段差のない床とすることで、将来的に議会以外の市民利用が可能な計画を検討しています。

◆市民エントランスからカウンターを一望でき、一目でどこへ行けばよいかわかる窓口計画

◆連続した窓口カウンターにより、窓口数の割り当てをフレキシブルに変更するなどサービスを受けていただきやすい窓口の実現

◆市民コーナーは市民の展示スペース等を配置し、様々な利用スペースを確保

◆市民ロビー・市民広場は災害時には一時退避やボランティア等の活動拠点として利用

4 機能的で経済的な庁舎
行政機能を効率的に運営でき、機能的で快適な庁舎を目指します。光熱費の削減、改修のしやすさ、清掃のしやすさなどライフサイクルコスト

（建物生涯コスト）を最小限にする計画とします。

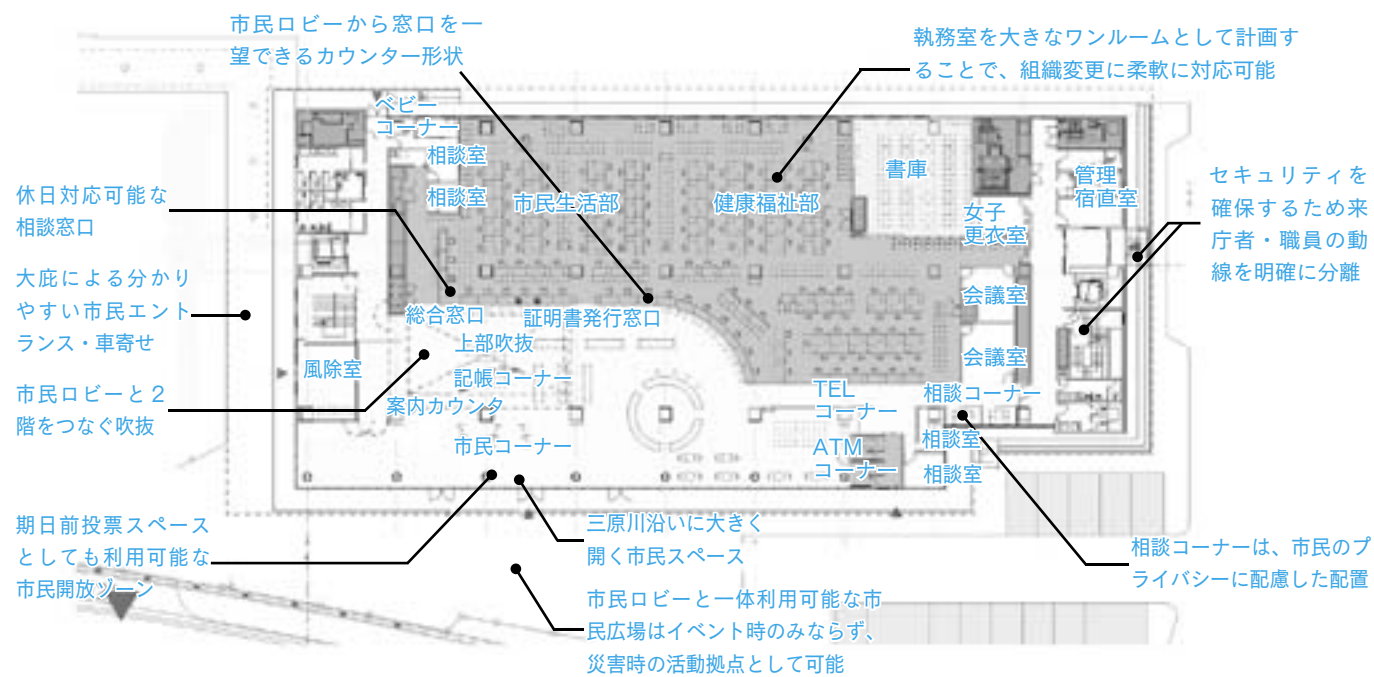
◆ロングスパンフレームの採用による免震装置数の削減とフレキシビリティの向上

◆階段や便所、設備を集約することで、使いやすいオープンな執務スペースの実現

◆市民エントランスとなる1階については、天井を極力上げることで広がりのある空間を実現



【図1】



【図2】



新庁舎建設基本設計が完成 ◆設計概要について◆
「新庁舎建設基本設計」が、10月末で完成し、庁舎の実施設計へ向けスタートをしました。そこで基本設計の概要等について、市民のみなさまにお知らせします。

今後のスケジュール
平成24年8月 「実施設計の完成」
平成25年1月 「新庁舎建設工事着手」
平成26年8月 「新庁舎完成、既存庁舎改修工事着手」
平成27年1月 「新庁舎開庁、既存庁舎改修工事完成」

新庁舎の設計方針
新庁舎は現在の中央庁舎南東側に建設する予定で、既存庁舎を含めた新庁舎計画敷地は、三原川と田畑をつなぐ斜面緑地に接し、論鶴羽山地からつくづく丘陵地に位置しており、緑豊かな南あわじの自然を眺望することができず。現在の既存中央庁舎と連携しながら建物内外どこからでも市民が豊かな自然を感じることのできる開かれた庁舎として、南あわじ市の新たな拠点を目指します。

また、新庁舎では、市民の皆さまが南あわじの豊かな自然や文化を感じながら、地元を誇りに思い、常に新たな活動

新庁舎6つのコンセプト
今回の基本設計では、設計方針を踏まえ、6つの基本コンセプトを定めています。

1 誰もが訪れやすい庁舎
市民の皆さまが訪れた時の玄関となる来客用駐車場や公共交通の利用を敷地の中央に集約し、誰もが訪れやすい配置計画としています。

◆全ての建物が、中央駐車場に面した配棟計画

◆バス・タクシーといった公共交通を中央駐車場に集中した訪れやすいアプローチ

◆市民ロビーと市民広場を設置し、市民活動の場をはじめ、災害時の活動拠点として活用

2 わかりやすい施設構成（図1）
明確な層構成、市民・職員動線の分離、既存庁舎と新庁舎の機能を適正に分担することにより市民に分かりやすく、利用しやすい庁舎とします。

◆来庁者の多い市民窓口を2階に集約

◆動線を分離することによって市民にわかりやすい施設構成

◆市民窓口や会議室、書庫などを出来るだけ集約したコンパクトな庁舎を実現

◆4階議会フロアには議会傍聴時の市民のロビーとして見晴らしの良い展望ロビーを設置し、市民開放ゾーンとしても活用

■建築概要
●建築面積 2,443.83㎡
●延床面積 6,891.30㎡(新庁舎のみ)
●構造 鉄筋コンクリート造(一部プレストレスト鉄筋コンクリート造) 免震構造
●階数 地上4階建
●駐車場台数 来庁者用約100台・駐輪場30台
●全体工事費 約25億円(用地費も含む)